

令和３年度第３回安城市総合交通会議 議事録

１ 日時

令和３年１１月１７日（水） 午後１時３０分～午後３時００分

２ 場所

安城市役所 第１０会議室

３ 出席委員

１８名

４ 会議内容

１ あいさつ

２ 議題

自転車活用推進計画の原案について

３ 報告事項

（１）乗降調査及びバス利用者アンケートの日程変更について

（２）あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

■委員からの主な指摘事項と対応について

議題 自転車活用推進計画の原案について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈愛知県交通対策課〉 ● P. 30, 31 の課題⑤の「新たな仕組み」と基本目標 3「意識の向上」とのつながりが分かりにくいと感じましたが、この関連性について説明していただけますか。	〈事務局〉 ● 利便性や安全性の高い自転車の普及ということで関連付けています。 ● また、災害時の移動手段としてシェアサイクル等の活用として関連付けています。
〈愛知運輸支局〉 ● 基本目標 3 は「意識の向上」ということですが、p. 31 の緑の枠内の内容は「自転車通行空間の安全性向上」「災害時の移動手段」と記載されており、基本目標とつながっていないように感じます。基本目標 3 で何を目的とするか明確にしないと施策への繋がりが分からなくなってしまうと思います。 ● 基本目標 1 はハード面について、基本目標 2 は「健幸づくり」について、基本目標 3 は安全面についてと内容をみてわかるように整理をした方が良いと思います。 ● 素案の時には市民アンケート結果がたくさん記載されていたと思いますが、今回の原案では、大幅に省かれている気がします。アンケート結果は計画の第 2 章に盛り込んだ方が良いでしょう。	〈事務局〉 ● 基本目標 3 については、どのようなことで交通安全意識の向上につながるのかを明確にした上で、一般の方に対してもわかりやすい文章表現に見直します。 ● 原案では、p. 19 以降で扱っていると捉えています。前回の指摘でどれが課題に結びついているのか分かりにくいとの指摘を受けたため、課題につながる部分のアンケートを本編に掲載しています。構成上どこに記載するか検討は必要ですが、資料編等で取り入れることも考えて、市民アンケートの結果を反映させていることをうまく表現できるように整理いたします。
〈商工会議所〉 ● ヘルメットの購入補助金の説明がありました。TS マークの補助金もどちらも都市計画課が実施しているのでしょうか。 ● 市民目線からみると、自転車関連のことは市民安全課から補助が受けられるというように窓口は 1 つに統一した方が良いでしょう。	〈事務局〉 ● TS の保険の補助金については、都市計画課で実施しています。ヘルメット購入の補助金については、市民安全課で 4 月から実施しています。 ● ワンストップが 1 番だと思っているため、予算が付く段階から、窓口の統一について経営管理部へ相談をしている最中です。しかし、現在の段階では結果が明確でないため、当面の間はそれぞれの部署に分かれて

	しまうかと推測はしていますが、各部署と相談はしている状況です。
〈エプロン会〉 ● ヘルメットはまだなかなか普及していない現状だと思います。自転車屋さんからヘルメット購入の補助金を受けるには何課に行けばいいか教えてもらえると良いと思います。 ● P.33 の基本目標 3、施策⑩学校における交通安全教育の推進とありますが、ここの中にも高齢者教室なども入れていただけると若者から高齢者までルールが勉強できて良いと思います。	〈事務局〉 ● ヘルメットの補助金の申請状況は、4月から始めて、現在 1,000 件を超えており、それなりに補助金の活用がされていると思います。学校や町内向けにも市民安全課からちらしを配布しております。TS の補助金に関しては、自転車屋さんにも PR をお願いしているので、同様にヘルメットに関しても PR は可能だと思うので、市民安全課と相談して進めてまいります。 ● 施策⑩は「学校等における交通安全教育の推進」とし、高齢者向けの交通安全教室も含め、子どもから高齢者まで、あらゆる世代を対象に交通ルールの啓発をさせていただきたいと考えております。
〈会長〉 ● 安全教室に関しては、1つの施策に集約した方が分かりやすいかもしれないです。	〈事務局〉 ● ご指摘を受け、施策⑩で集約して整理します。
〈会長〉 ● 市民が利用する立場のことしか記載されていないため、市民が活用推進していく立場のコメントを記載した方が良いと思います。市民がこの計画を実行していく上での役割を整理した方が良いと思います。	〈事務局〉 ● 「第5章 計画の推進に向けて」のなかで、推進体制のなかで、市民の関わり方を明記します。
〈市民代表〉 ● P.39 基本目標 2 の施策④ではハコモノの整備について記載されていますが、日常生活においては、各店舗で自転車の駐輪場が整備されていない場所が多々あります。これから市をあげて自転車の活用を推進していくのであれば、日常により近い方たちにも分かりやすいように計画に盛り込んでいただくと良いと思います。市の姿勢が民間につながっていただければいいなと思います。 ● 行政の施設で駐輪場に段差があって、自転車を持ち上げる必要があり、危ないと感じることがあります。ただ駐輪場をつくれば良いの	〈事務局〉 ● 公共施設であれば、市が主導的に整備できますが、民間には条件として指定できるものではないため、難しさはありますが、民間と連携を図って、ご案内等できると良いと思います。そういう意味では、(2)の民間による自転車駐輪場の整備促進に含まれても良いと感じています。

ではなくて、使いやすさや安全面も考慮して整備してほしいと思います。	
〈町内会連携〉 ● 整備した自転車通行帯周辺の草刈などの維持管理面にも目を向けていただけると良いと思います。	〈事務局〉 ● 自転車ネットワーク路線には市道、県道がありますが、その整備については市や県のわけではなく、皆様が利用しやすいように整備をするため連携して進めてまいります。
〈タクシー協会〉 ● 基本目標 1 はハード面の対策について、2 は自転車利用の拡大について、3 は自転車利用における人の教育や意識の向上についてということだと思いますが、施設を整えて、人の教育をして、その上で自転車の利用促進をしていくという流れがイメージしやすいと思います。基本目標の順番が、1→3→2の方が読んでいて納得できる気がします。 ● 施策⑩の学校での教育や施策⑨では高齢の方、施策⑦では通勤利用の内容が記載されていますが、例えば、主婦等の方への教育について抜けがあるように感じるので、「安全利用のための教育」という観点でひとまとめにして、各年齢層ではどのように実施するかを整理したほうが良いと思います。 ● 施策⑦自転車通勤等の促進の部分も、「駐輪場の整備の必要性について検討します」と記載されていますが、駐輪場の整備については基本目標 1 ではないかと思いました。もう少し大きな分け方が分かりやすいと感じました。	〈事務局〉 ● 本計画の基本目標の順番については、国で定める法定計画の体系に合わせるかたちでこれまで検討を進めてきたため、現在の枠組みで整理を進めてまいります。 ● 教育は市民安全課で第 11 次交通安全計画を作成中です。その中で、各層の対象者向けに安全教育について表現をされています。交通安全計画との連携し、施策⑨では主に安全利用の啓発について、施策⑩はルール等の教育、指導という観点で施策を整理します。 ● 施策⑦では、「状況に応じて」と記載していますが、基本目標 1 のハード面の整備との兼ね合いをもう一度整理いたします。
〈愛知運輸支局〉 ● 学校のところで中学、高校も対象として検討しているということを表現できると良いと思います。明確に記載されていない層の方たちは市民という括りにすれば良いと思います。 ● 市民の身近な行動に関する施策（スーパーマーケットやバス停に駐輪場の整備など）があると良いと思います。	〈事務局〉 ● 計画の細かい視点は、実施施策の要素が強くなると思うので、明確に示せるものは記載をし、示せないものに関しても利用の観点からうまく表現できるよう検討いたします。 ● 地域の公共的なスペースで駐輪場を実際に確保することが難しく具体的な整備を今の段階ではお示しできないですが、確保することが理想と考えています。

● 点検・整備について、自転車を購入する際に、自転車のアドバイザーがいるというような視点があると良いと思います。 ● P.45の参考例は、市として本当に実施したいことなのでしょうか。自ら市民がやりたいことを発掘したことが、やっていってほしいことかと思います。	● 安全に乗るためには、点検をしなければならないという意識を持つことも必要だと思います。現在、安城市が行っているTSの補助は整備をした自転車のみが対象となっています。 ● 市が進めるというよりも、自転車を活用する上での事例の紹介という観点で記載しております。
〈名鉄バス〉 ● 基本目標3の施策⑨で、車の立場からすると、事故になり得る具体的な例を記載すると分かりやすいと思います。	〈事務局〉 ● 若い世代の教育が必要だということは数値的にも示されています。事故例や起きた要因等を記載すれば、教育にもなるため、教育の観点である施策⑩で整理します。
〈タクシー協会〉 ● 自転車を使った事業者の乗り方が危ないと話題になっていますが、そういった人たちにはどのように対応するのか等、中長期的に計画をたてるのであれば検討が必要だと思います。	〈事務局〉 ● 自転車での配達員も対象とした交通安全教室の実施が全国的には行われていたりするため、施策⑩の対象者の一部として捉えて整理します。
〈会長〉 ● パーソナルモビリティの普及が進む中で、安全な利用方法や道路空間の共有方法などについて、総合交通会議内で議論をする必要があると思っています。 ● P.2,3の「計画の策定にあたって」で安城市が自転車の活用について先進的に取り組んできたことを表現した方が良いと思います。安城市の軸があって、横から国と県の計画、法を追加すると良いと思います。	〈事務局〉 ● これまで、独自で計画を作り先進的に取り組んできたことなので、意識が高いことを表現できるように検討いたします。

報告事項（１）乗降調査及びバス利用者アンケートの日程変更について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈タクシー協会〉 ● 延期の理由を紙面上に記載したほうが良いと思います。	〈事務局〉 ● 以後、気を付けてまいります。

報告事項（２）あんくるバス・あんくるタクシー等の利用状況について

主な質問・指摘事項	回答・対応方針
〈愛知運輸支局〉 ● 生活様式の変化により、コロナ前には完全にもどらないかもしれないと思います。地域の足をどのように確保していくのか引き続き、議論をしていただきたいと思います。 ● 様々な年齢層の方など新しい需要の発掘をしていただけると良いと思います。	〈事務局〉 ● 利用者アンケート、市民アンケートから生活様式の変化が見えてくると思うので、どのような施策ができるのかアンケートを考慮しながら検討してまいります。